

平成 28 年度

事業報告書

平成28年度 事業実績

I. 事業実績

(公益財団法人として)

平成28年度は、当財団の設立40周年を迎えた事業年度であり、公益財団法人移行後7期目であるとともに、世田谷区(これ以降「区」という。)より受託した区立保健センター並びに区立総合福祉センターの指定管理第3期目の最終年度となる5年目の年にあたる。

当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(平成26年度～平成29年度)に基づき、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取組みの拡充、利用者視点に立った障害福祉事業の展開とともに、地域医療機関への後方支援の強化や総合福祉センターの機能移行に向けた着実な準備などに取り組んできた。また前年度に策定した新たな「保健センター経営ビジョン(第二次)」に基づく財団改革を着実に進め、新たな事業を検討、展開するとともに、区の外郭団体としてより一層の自主・自立性を高めるため、収益事業の拡充など経営基盤の安定化、経営の効率化に向けた検討も進めてきた。さらには平成29年度からとなる第4期の指定管理者として選定され、今後も引き続き財団の経営について効果的かつ効率的に取り組んでいく。

一方、区民に親しまれ信頼される事業運営をめざし、ホームページに必要な法人情報(役員名簿や財務諸表、例規類集など)を常に更新するなど、公益財団法人としてのディスクロージャー(情報開示)を維持しつつ、ソーシャルネットワーキングシステム(SNS)を活用した区民への情報発信の多様化にも力を注いでいる。また、学会・研究会への発表論文を公開することで不特定多数の利益の増進という公益財団としての基本目的も果たしてきた。

なお、公益法人会計基準に従い収支相償の達成に向け公益目的事業を補完する収益事業の収入確保に努めるとともに、公認会計士による毎月の会計指導、中間期の財務状況を的確に把握するための期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを継続、実施した。

今後は、引き続き梅ヶ丘拠点整備における保健・医療・福祉の拠点整備を視野に、平成32年度の開設をめざす新たな区立保健センターの管理運営を当法人が担っていくため、すべての区民の健康な生活と区民福祉の向上に資することを財団の存在意義としてあらためて認識し、拠点機能の強化や健康づくり事業の地域展開の拡充などを進めていくことが必要となる。また将来を見据えた先駆的な施策等に応えられる職員の育成や意識改革も課題とし、関係団体等様々な方面からの意見も取り入れ、その他の基本計画とともに財団の設立目的の達成や「保健センター経営ビジョン(第二次)」などが指し示す方向に向けて経営改革を進めているところである。

(財団運営の状況)

区立施設の指定管理を請け負う法人として、安定した運営を継続するためには、財務状況の改善が必須である。このため財務改善計画に示された効率的な事業運営や支出抑制に努め、また利用者の意見等を運営に反映させるためのアンケートを継続的に実施し、それを分析することで利用者増、収入増に向けた事業の改善に取り組んできた。

また職員の世代交代に対応するため人事・組織計画を策定し、契約職員の正規登用制度や定年退職後の継続雇用など、マンパワーの維持・向上に向けた整備・運用を継続して行った。

広報活動としては、区内全域の新聞折込みによる健康情報紙「げんき人」の発行をはじめ、「保健センターまつり」における実施事業の案内紹介、健康情報の提供、がん検診の過去の受診者に対する勧奨通知などを行った。さらに、ソーシャルネットワーキングシステム（SNS）を活用した区民等への情報発信を実施したほか、事業紹介パネルの各総合支所への掲示など、事業PRにも力を注いだ。

事業面においては、がん患者や家族等を支える中核的機能の確立をめざし、「がん相談コーナー」の対面相談や電話相談を継続して運営するとともに、がん検診の「精度管理事業」において、世田谷区が実施する5つの対策型検診の全てで引き続き精度管理に取り組んだ。また、MRIにおける早期アルツハイマー型認知症診断支援システム（VSRAD）の導入や地域づくりによる介護予防事業の対象を区内全域に拡大するなど、新たな事業展開にも着手した。

総合福祉センターでは、平成31年3月の同センターの廃止及び梅ヶ丘拠点への計画的かつ円滑な機能移行に向け、区との連携により策定した世田谷区立総合福祉センター機能業務移行計画に沿って個別事業移行計画の策定に取り組んだ。また、業務の引継ぎなどを着実に進めるため、梅ヶ丘拠点の民間施設棟整備・運営事業者である南東北グループから出向職員を受け入れた。

さらに、施設面では消防点検における設備の指摘事項など、適切な補修を行うとともに、利用者の安心・安全につながる改修を進めた。花と緑に溢れた保健センターをめざし、前年に引き続き花壇整備は地域区民ボランティアの協力により、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。さらに、環境への配慮として、環境配慮行動が進むよう総合的なECO推進に向け取り組んだ。

1 公益目的事業

公益 1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

(1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) がん検診事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

① 保健センター及び検診車における胃がん検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受診を勧奨した。

[表 1]

| 事業項目 | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------------|--------------|--|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| 胃がん検診 | 回数 | 620回 | 641回 | 103.4% | 620回 | 647回 | 638回 | | |
| | 受診者数 | 13,800人 | 10,784人 | 78.1% | 15,000人 | 13,274人 | 12,955人 | | |
| | がん発見数 | — | 8人 | — | — | 25人 (23人) | 22人 (17人) | | |
| 精度管理 (精密) | | 2,200人 | 952人 | 43.3% | 2,800人 | 1,188人 | 1,802人 | | |

※ 申込数 11,850 人(受診率 91.0%)、要精検数 1,390 人(要精検率 12.9%)

※ がん発見数は平成29年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 精度管理(精密)の実績は、28年度中に記録処理を行った数である。

② 保健センターでの乳がん検診

40歳以上の区民(女性)を対象に行われている乳がん検診において、受託機関として視触診、マンモグラフィ撮影(乳房X線撮影)及び読影を実施した。

28年度は前年度と比べて実績が減少しているが、前年度である27年度は、26年度末に地域医療機関で視触診を実施した受診者のマンモグラフィの受入れを、27年度当初に臨時枠を設けて対応したものを含んだ実績である。また、視触診・マンモグラフィについては、同時受診の利便性が増加につながっている。

[表2]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|----------|-------------|----|--------|--------|--------|------|------|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 乳がん検診 | 回数 | | 200回 | 169回 | 84.5% | 150回 | 169回 | 152回 |
| | マンモグラフィ | | 300人 | 388人 | 129.3% | 300人 | 454人 | 387人 |
| | 視触診・マンモグラフィ | | 1,000人 | 1,060人 | 106.0% | 800人 | 958人 | 962人 |
| 精度管理(精密) | | | 80人 | 146人 | 182.5% | 80人 | 58人 | — |

※ マンモグラフィ申込数400人(受診率97.0%)、要精検数34人(要精検率8.8%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数1,077人(受診率98.4%)、要精検数115人(要精検率10.8%)

※ 精度管理(精密)の実績は、28年度中に記録処理を行った数である。

(3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、トータルな健康づくりを目指し、運動・栄養・休養指導を充実させた専門性の高い教室と体験から実践までのニーズに応じた多様な教室・講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室を開催した。

[表3]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------|--------|----|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 健康度測定 | 回数 | | — | 83回 | — | — | 85回 | 87回 |
| | 人数 | | 1,680人 | 1,679人 | 99.9% | 1,680人 | 1,763人 | 1,831人 |
| 再測定 | 人数(再掲) | | — | 51人 | — | — | 41人 | 74人 |
| 運動負荷測定 | 回数 | | — | 44回 | — | — | 45回 | 45回 |
| | 人数 | | 150人 | 148人 | 98.7% | 150人 | 163人 | 158人 |
| 健康増進指導 | 回数 | | — | 417回 | — | — | 424回 | 420回 |
| | 人数 | | 10,600人 | 11,806人 | 111.4% | 10,600人 | 11,887人 | 11,866人 |
| 壮年期 | 回数(再掲) | | 48回 | 48回 | 100.0% | 48回 | 48回 | 50回 |

- ※ 健康度測定受診総数 1,679 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理)1,273 人、栄養指導(食生活改善)1,301 人、運動指導(活動・運動方法)1,403 人を実施した。
- ※ 運動負荷測定受診者 148 人のうち、運動処方参加者 34 人に実践指導を行った。
- ※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。
 - ・ トータルな健康づくり 173 回(参加数 4,238 人)
 - ・ 心とからだの癒しと元気 20 回(参加数 495 人)
 - ・ 食での健康 17 回(参加数 350 人)
 - ・ からだの元気 159 回(参加数 5,514 人)
 - ・ 壮年期向け(59歳以下対象) 48 回(参加数 1,209 人)

② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

(ア) 実地指導・健康づくり支援

実地指導では、各総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催される健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、世田谷区生活習慣病対策検討会や世田谷区地域の食環境づくり推進部会へ運動指導員・栄養士等の専門職員を派遣した。また、長期継続自主団体を支援するため地域交流会を開催するなど、区民主体の健康づくり活動を支援した。

[表4]

| 事業項目 | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|---------|------|---------|----------|--------|---------|----------|----------|--|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| 実地指導 | 派遣数 | 1,100 回 | 1,102 回 | 100.2% | 1,100 回 | 1,079 回 | 1,112 回 | | |
| | 指導人数 | — | 18,483 人 | — | — | 17,704 人 | 17,848 人 | | |
| 健康づくり支援 | 回数 | 100 回 | 102 回 | 102.0% | 100 回 | 124 回 | 101 回 | | |

(イ) 地域健康出前講座・壮年期対象地域講座・職場のげんき力アップ

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防の意識を高める講座を開催した。また、壮年期対象地域講座では、壮年期世代が集まる児童館や公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携し、59歳以下の方を対象に講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりメニューを提示し、6ヶ月間にわたって保健師や栄養士などの専門職員がフォローする事業として、平成26年度より開始した。28年度は1社がプログラムに参加した。企業検診受診企業やセラ・サービス((公財)世田谷区産業振興公社)会報でのリーフレットの配布、また、オーナー向

け講演会などでの周知を行ったが、参加企業の掘り起こしにはつながらなかった。事業所担当者の事業に対する認知と理解の向上が課題である。

[表 5]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|----------------|----|----|------|------|--------|------|------|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 地域健康 出前講座 | 回数 | | 30回 | 23回 | 76.7% | 30回 | 26回 | 29回 |
| | 人数 | | — | 451人 | — | — | 685人 | 835人 |
| 壮年期対象 地域講座 | 回数 | | 8回 | 8回 | 100.0% | 8回 | 8回 | 8回 |
| | 人数 | | — | 88人 | — | — | 79人 | 167人 |
| 職場の げんきカアップ | 件数 | | 3社 | 1社 | 33.3% | 3社 | 0.5社 | 1.5社 |

③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、「せたがや元気体操リーダー」を派遣し健康づくり活動を支援した。「せたがや元気体操リーダー」は、区民ボランティアリーダーとして、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

28年度は、27年度に養成した第7期リーダーを対象に2日間の上級講座を開催し、幅広い対象者への実践指導に役立つスキルを磨いた。また、登録リーダー66名に対して、指導技術の維持向上を図るため、研修会・交流会および指導実習を実施した。

[表 6]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-----------|----|----|------|------|--------|------|------|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| リーダー養成 | 人数 | | 隔年実施 | — | — | 10人 | 10人 | — |
| 上級リーダー養成 | 人数 | | 10人 | 10人 | 100.0% | 隔年実施 | — | 11人 |
| 研修会（講座） | 回数 | | 10回 | 10回 | 100.0% | 10回 | 10回 | 10回 |
| 研修会（指導実習） | 人数 | | 30人 | 30人 | 100.0% | 30人 | 30人 | 29人 |
| リーダー交流会 | 回数 | | 6回 | 6回 | 100.0% | 6回 | 6回 | 6回 |
| リーダー実地指導 | 回数 | | 320回 | 319回 | 99.7% | 320回 | 316回 | 316回 |

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、重度化予防のための事業として地域出張健康測定・個別相談会・実践セミナーのほか、地区医師会や国保年金課・全国健康保険協会東京支部（協会けんぽ）と連携した重症化予防対策を展開した。28年度は協力医療機関からの紹介および国保年金課・全国健康保険協会東京支部（協会けんぽ）の受診者データから抽出した該当する区民への勧奨により、派遣型集団指導「まちかどゼミ」では参加者を少し増やした。なお、個別指導「パーソナルサポート」の実績は4人に止まった。

[表7]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 | |
|------------------------|-------------|----|------|-----|--------|-------|-----|------|----|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | |
| 地域出張 健康測定・ 個別相談会 | 回数 | | 4回 | 4回 | 100.0% | 4回 | 4回 | 4回 | |
| | 人数 | | — | 73人 | — | — | 73人 | 86人 | |
| 重度化予防の 実践セミナー | 回数 | | 3回 | 3回 | 100.0% | 3回 | 3回 | 4回 | |
| | 人数 | | — | 42人 | — | — | 50人 | 73人 | |
| 重症化 予防対策 | 集団指導 | 回数 | 3回 | 3回 | 100.0% | 3回 | 3回 | 5回 | |
| | | 人数 | — | 1人 | — | — | 0人 | 54人 | |
| | 派遣型 集団指導 | 回数 | 5回 | 5回 | 100.0% | 5回 | 5回 | — | |
| | | 人数 | — | 34人 | — | — | 5人 | — | |
| | 個別指導 | | 人数 | 20人 | 4人 | 20.0% | 20人 | 2人 | 0人 |

(4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。

保健センター主催の講演会では、昭和女子大学より講師を招き「腸内フローラと健康」を開催した。また、心の健康づくり講習会では、駒澤大学より講師を招き「座禅」を、能楽師狂言方(大藏流)より講師を招き「狂言と笑い」をテーマとした講習会を開催した。

[表8]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-------------|----|----|------|--------|--------|------|------|--------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 区民のための健康教室 | 回数 | | 4回 | 4回 | 100.0% | 4回 | 4回 | 4回 |
| | 人数 | | — | 1,278人 | — | — | 787人 | 1,045人 |
| 区民のための糖尿病教室 | 回数 | | 1回 | 1回 | 100.0% | 1回 | 1回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 9人 | — | — | 18人 | 14人 |
| 歯っぴいフェスタ | 回数 | | 1回 | 1回 | 100.0% | 1回 | 1回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 1,041人 | — | — | 813人 | 736人 |
| くすりと健康のつどい | 回数 | | 2回 | 2回 | 100.0% | 2回 | 2回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 377人 | — | — | 447人 | 245人 |
| 薬の講演会 | 回数 | | 1回 | 1回 | 100.0% | 1回 | 1回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 20人 | — | — | 75人 | 27人 |
| 心の健康づくり講習会 | 回数 | | 2回 | 2回 | 100.0% | 2回 | 2回 | 2回 |
| | 人数 | | — | 95人 | — | — | 99人 | 91人 |
| 講演会・講習会 | 回数 | | 1回 | 1回 | 100.0% | 1回 | 1回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 84人 | — | — | 64人 | 70人 |

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報紙「げんき人」の発行、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙(誌)「げんき人」はタブロイド判をこれまでの3回から4回発行とし、新聞折込により区内全域に配布したほか、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。

また、SNSを使った広報を開始し、若年利用者増に向けた情報発信の第一歩を踏み出した。

『伝える、つなげる、笑顔の輪!』をテーマとしたイベント「保健センターまつり2016」を10月2日(日)に開催、健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、係の枠を超えた実行委員会形式で企画・運営を行った。壮年期世代を含む比較的若い区民へのアプローチとして、親子ヨガ・フェイシャルヨガ等の体験企画や近隣小学校を通じての周知を行い、子ども向け体験ミッションを企画した。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰なども同時に実施した。

[表9]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|---------------------------|--------|----|------|--------|-----|------|----|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 健康情報紙(誌) 「げんき人」の 発行 | タブロイド判 | 4回 | 4回 | 100.0% | 3回 | 3回 | 3回 | |
| | A4カラー判 | — | — | — | 1回 | 1回 | 1回 | |

| 発行年月日 | 内 容 | 規 格 発行部数 |
|---------------------|--|----------------------------|
| 28. 5. 1 (第86号) | 胃がん・大腸がん検診 毎年受けましょう! がんは発見時期によって生存率がこんなに違います! ほか | タブロイド判 2ページ 285,000部 |
| 28. 7. 1 (第87号) | 区内で亡くなった方の6割が「生活習慣病」が原因でした!? 生活習慣病の予防のために、特定健診を受診しましょう! ほか | タブロイド判 2ページ 285,000部 |
| 28. 9. 15 (第88号) | 伝える、つなげる、笑顔の輪! 第7回 保健センターまつり2016 ほか | タブロイド判 2ページ 285,000部 |
| 29. 3. 1 (第89号) | 働き盛りの男性のみなさん! あなたは大丈夫ですか 保健センターで楽しく健康づくりしませんか ほか | タブロイド判 2ページ 285,000部 |

[表 10]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------------------|----|----|------|--------|--------|------|--------|--------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 保健センター まつり 2016 | 回数 | | 1回 | 1回 | 100.0% | 1回 | 1回 | 1回 |
| | 人数 | | — | 1,682人 | — | — | 2,044人 | 1,569人 |

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

| | | | |
|-------------------|------|---------------|------|
| ・健康講演会「胃がん検査のABC」 | 54人 | ・健康クイズ・診断コーナー | 250人 |
| ・長期グループ表彰式 | 25人 | ・世田谷いきいき体操 | 35人 |
| ・ヨガ体験(4種) | 161人 | ・栄養チェックコーナー | 138人 |
| ・バルーンアート | 200人 | ・健康チェックコーナー | 463人 |
| ・知って得するがん検診のイロハ | 150人 | ・ファミリーウォークラリー | 69人 |
| ・1日科学者体験ミッション | 14人 | ・薬の相談コーナー | 37人 |
| ・アロマハンドマッサージ | 86人 | | |

③ 健康教育指導と出張指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、8種類の運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを通年で開催した。

また団体支援として、介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣した。特に「地域づくりによる介護予防」は、対象を区内全域に拡大し、おもりを使った保健センターオリジナルの「世田谷いきいき体操」を地域づくりの中で広めることに努めた。その他にも区の職員厚生課の依頼による「腰痛予防講座」やまちづくりセンターなどの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 11]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|---------------|----|----|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 運動コース | 回数 | | 400回 | 393回 | 98.3% | 400回 | 396回 | 400回 |
| | 人数 | | — | 17,516人 | — | — | 18,243人 | 18,107人 |
| マシン トレーニング | 回数 | | — | 1,211回 | — | — | 1,211回 | 1,216回 |
| | 人数 | | 12,500人 | 13,857人 | 110.9% | 12,500人 | 13,576人 | 12,768人 |

※ 運動コースでは「ゆったり気功体操」「チャレンジ太極拳」「エンジョイフラダンス」「わくわく体操」「さわやかヨガ」「すこやか体操」「ステップエアロ」「ファイティングエアロ」の8コースを実施。

[表 12]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|------|--------------|------|------|---------|--------|-------|---------|---------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 出張指導 | 筋力アップ 教室 | 回数 | 2 教室 | 2 教室 | 100.0% | 2 教室 | 2 教室 | 2 教室 |
| | | 人数 | — | 213 人 | — | — | 255 人 | 201 人 |
| | 地域づくりによる介護予防 | 団体数 | 8 団体 | 12 団体 | 150.0% | — | 3 団体 | — |
| | 普及啓発講座 | 地区数 | 2 地区 | 2 地区 | 100.0% | | | |
| | その他 | 派遣人員 | 40 人 | 37 人 | 92.5% | 130 人 | 172 人 | 179 人 |
| | | 参加人員 | — | 1,196 人 | — | — | 2,514 人 | 2,437 人 |

④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学講師等と内容を協議した講習会の開催、病院の地域医療連携室等との事業関連の研修企画など、幅広い連携を図った。

また、保健センターまつりにおいて、長期継続グループの表彰を行った。

[表 13]

| 事業項目 | 年度 | 28年度 | |
|---------------------|----|-------------------------|----------------|
| | | 内 容 | 期 日 |
| 大学等との連携 | | 世田谷区医師会立看護高等専修学校／成人看護実習 | 28 年 05 月～12 月 |
| | | 昭和女子大学 実習受入 | 28 年 09 月～10 月 |
| | | 武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入 | 28 年 09 月～10 月 |
| | | 帝京平成大学健康メディカル学部 実習受入 | 28 年 09 月～10 月 |
| | | 日本女子体育大学 実習受入 | 28 年 09 月～12 月 |
| | | 駒澤大学仏教学部禅学科／座禅講座講師派遣 | 28 年 11 月 21 日 |
| | | 区立中里小学校／がん教育授業への協力 | 29 年 02 月 23 日 |
| 地域健康づくり グループとの交流 | | 長期継続グループの表彰（7 団体） | 28 年 10 月 2 日 |

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。26年度の「せたがやコールセンター」勸奨により一時的に増加したが、効果は持続せず支援数は伸びていない。28年度は計画数の4割に満たなかった。

[表 14]

| 事業項目 | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------|-----|------|-----|-------|------|------|------|--|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| 積極的支援 | 実人数 | 75人 | 18人 | 24.0% | 75人 | 28人 | 33人 | | |
| 動機づけ支援 | 実人数 | 225人 | 95人 | 42.2% | 225人 | 108人 | 147人 | | |

⑥ 各種相談に対応する取組み

がん患者とその家族などに対して、がんの不安や治療などの各種相談に対応した。

対面相談は、看護師による専門相談を第2・4土曜日の月2回、電話相談は毎週木曜日の月4回実施した。電話相談では月4回のうち、看護師による専門相談を第1・3週に、がん体験者によるピア相談を第2・4週に実施した。

[表 15]

| 事業項目 | | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|----------|------|-----------------------|-----|-----|-------|-----|-----|------|--|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| がん相談コーナー | 対面相談 | 回数 | 24回 | 23回 | 95.8% | 24回 | 24回 | 12回 | | |
| | | 人数 (最大受入数) 72人 | 13人 | — | — | 21人 | 21人 | | | |
| | 電話相談 | 回数 | 48回 | 44回 | 91.7% | 48回 | 47回 | — | | |
| | | 人数 (最大受入数) 144人 | 27人 | — | — | 16人 | — | | | |

※就労相談(2件)を対面相談と合わせて10月と11月に各1回行なった。

⑦ 新しい地域の拠点づくり

池尻2丁目に開設した区立健康増進・交流施設の指定管理者である共同事業体の構成員として、運動室「フットパル池尻」のスタッフ研修やプログラムの監修等を担当した。財団の持つ高い専門性や指導ノウハウを活用しながら、健康づくりを实践する新しい地域拠点として定着するよう分担業務に努めた。

[運動プログラムの運営サポート]

年間を通して幅広い層の区民が楽しくかつ安全に運動ができるよう、運動室のプログラムに関するアドバイスなど、運動室運営のサポートを行った。

[健康相談室の運営]

健康増進にかかわる専門職を派遣し、食生活など健康に関する相談を実施した。

栄養相談会(10月9日開催) 参加44人

公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業 (総合福祉センター事業)

(1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)

世田谷区の委託により基幹相談支援センターを設置し、年齢・障害の種別に関わりなく、障害者(児)および家族等への相談支援を実施したが、各地域の障害者相談支援センターへの基本相談が充実してきており、当該センターへの相談件数は減少の傾向が窺われる。

また、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、世田谷区自立支援協議会の事務局を担うとともに、地域相談支援センター連絡会や相談支援事業者連絡会を通し、区内の相談支援体制の連携強化に取り組んだ。

さらに、テーマ別の障害者のための相談支援人材育成研修と相談支援専門員を養成するための相談支援従事者初任者研修を引き続き実施し、区の進める地域包括ケアの展開を踏まえ、地域の相談支援に従事する人材の育成を行った。

指定特定・障害児相談支援事業所については、総合福祉センターにおける障害者総合支援法による自立訓練事業や児童福祉法による児童発達支援事業の利用者を中心に、サービス等利用計画の作成とモニタリングについても実施した。

① 相談支援

[表 16]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|------|-----|------|------|-------|------|------|------|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 相談件数 | 実人数 | 200人 | 72人 | 36.0% | 200人 | 126人 | 154人 | |
| | 延人数 | 220人 | 115人 | 52.3% | 220人 | 163人 | 198人 | |

② 自立支援協議会の開催

[表 17]

| 事業項目 \ 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-----------|------|-----|--------|------|----|------|
| | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 自立支援協議会 | 2回 | 2回 | 100.0% | 2回 | 2回 | 2回 |
| 同 運営会議 | 11回 | 11回 | 100.0% | 11回 | 9回 | 13回 |

③ 人材育成

[表 18]

| 事業項目 \ 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-----------|------|------|--------|------|------|------|
| | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 研修実施 | 200人 | 376人 | 188.0% | 200人 | 349人 | 230人 |

④ 指定特定・障害児相談支援事業所の運営

[表 19]

| 事業項目 \ 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-------------|------|------|-------|------|------|------|
| | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| サービス等利用計画作成 | 840件 | 712件 | 84.8% | 840件 | 743件 | 277件 |

(3) 機能訓練事業（定款第4条第2号事業）

① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者総合支援法に位置づけられない指導・訓練のほか、障害者総合支援法に基づく自立訓練の契約開始までの指導・訓練や契約終了後のフォローを行った。平成28年度は、相談支援事業の浸透により利用者への指導・訓練の機会が増加したため、個別訓練の延人数が増加した。また、グループの延人数については、法内の自立訓練へのスムーズな移行に取り組んだ成果があらわれたことにより減少となっている。

[表 20]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 成人機能訓練 | 個別 | 実人数 | 500人 | 454人 | 90.8% | 500人 | 375人 | 358人 |
| | | 延人数 | 1,600人 | 1,870人 | 116.9% | 1,600人 | 1,706人 | 1,398人 |
| グループ | 実人数 | 実人数 | 40人 | 29人 | 72.5% | 40人 | 30人 | 36人 |
| | | 延人数 | 300人 | 109人 | 36.3% | 500人 | 199人 | 211人 |

② 障害者総合支援法 自立訓練

自立促進、生活の質の向上等を図るため、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。平成28年度は、継続してニーズのある高次脳機能障害者への生活訓練と身体機能の訓練を併せて実施するケースが増加したことにより、個別訓練の延人数が増加した。

[表 21]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|------|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 自立訓練 | 個別 | 実人数 | 70人 | 81人 | 115.7% | 70人 | 73人 | 63人 |
| | | 延人数 | 2,200人 | 3,531人 | 160.5% | 2,000人 | 3,132人 | 2,829人 |
| グループ | 実人数 | 実人数 | 50人 | 48人 | 96.0% | 50人 | 61人 | 48人 |
| | | 延人数 | 2,000人 | 2,408人 | 120.4% | 1,800人 | 2,334人 | 2,362人 |

③ 児童機能訓練

発達遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育むため、相談・評価・訓練等を実施した。平成28年度は子どもの発達課題や障害特性の理解を深め、「障害受容」を支えることを目的に家族支援の充実を図ったため、児童機能訓練の人数が増加した。

[表 22]

| 事業項目 | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| 観察評価 | | | | | | | | | |
| | 実人数 | 850件 | 874件 | 102.8% | 2,350件 | 2,444件 | 2,446件 | | |
| | 延人数 | 3,000件 | 2,782件 | 92.7% | | | | | |
| 児童機能訓練 (継続相談) | 実人数 | 200人 | 393人 | 196.5% | 400人 | 348人 | 361人 | | |
| | 延人数 | 400人 | 1,232人 | 308.0% | 900人 | 995人 | 967人 | | |

④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育むための療育として、児童福祉法による児童発達支援事業を実施した。平成28年度は、家族支援の取り組みを通じ、地域の社会資源への移行を行ったため、個別支援の人数が減少した。一方、集団適応を目的とするグループ指導は、増加した。

[表 23]

| 事業項目 | | 年度 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 | | |
| 児童発達支援事業 | | | | | | | | | |
| 個別 | 実人数 | 500人 | 502人 | 100.4% | 550人 | 635人 | 742人 | | |
| | 延人数 | 6,200人 | 5,027人 | 81.1% | 6,750人 | 6,548人 | 7,927人 | | |
| グループ | 実人数 | 120人 | 155人 | 129.2% | 140人 | 199人 | 94人 | | |
| | 延人数 | 2,950人 | 3,289人 | 111.5% | 2,400人 | 3,087人 | 1,027人 | | |

(4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるように各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助や施設職員等を対象とした研修を行うなどの地域支援を実施した。

[表 24]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|---------|--------|----|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 交 流 | 講習会等参加 | | 2,800 人 | 2,441 人 | 87.2% | 2,800 人 | 2,474 人 | 2,120 人 |
| 技 術 支 援 | 回 数 | | 580 回 | 564 回 | 97.2% | 580 回 | 572 回 | 555 回 |
| 研 修 | 人 数 | | 1,000 人 | 1,254 人 | 125.4% | 1,000 人 | 758 人 | 744 人 |

2 収益事業

収益1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

(1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 25]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-------------------------|----|--------|--------|-------|--------|--------|--------|------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 胃 | | | | | | | | |
| 内視鏡検査 | 件数 | 1,750件 | 1,407件 | 80.4% | 1,750件 | 1,493件 | 1,533件 | |
| 病理組織検査 | 件数 | 620件 | 419件 | 67.6% | 620件 | 476件 | 479件 | |
| 大腸 | | | | | | | | |
| 内視鏡検査 | 件数 | 380件 | 264件 | 69.5% | 350件 | 329件 | 332件 | |
| 病理組織検査 | 件数 | 160件 | 102件 | 63.8% | 150件 | 105件 | 140件 | |
| 乳房 | | | | | | | | |
| 一般撮影 | 件数 | 310件 | 185件 | 59.7% | 450件 | 180件 | 153件 | |
| スポット撮影 | 件数 | 30件 | 16件 | 53.3% | 50件 | 25件 | 24件 | |
| 超音波検査 | 件数 | 340件 | 228件 | 67.1% | 500件 | 196件 | 168件 | |
| 細胞診検査 | 件数 | 30件 | 9件 | 30.0% | 50件 | 10件 | 12件 | |
| 子宮 | | | | | | | | |
| 内視鏡検査 | 件数 | 150件 | 128件 | 85.3% | 120件 | 148件 | 157件 | |
| 病理組織検査 | 件数 | 150件 | 130件 | 86.7% | 120件 | 146件 | 158件 | |
| 細胞診検査 | 件数 | 150件 | 131件 | 87.3% | 120件 | 150件 | 158件 | |
| MRI検査 | 件数 | 2,300件 | 1,744件 | 75.8% | 2,300件 | 1,927件 | 1,942件 | |
| CT検査 | 件数 | 2,300件 | 1,906件 | 82.9% | 2,300件 | 1,916件 | 1,863件 | |
| 腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈) | 件数 | 280件 | 256件 | 91.4% | 250件 | 252件 | 214件 | |
| 心臓 | | | | | | | | |
| ホルター心電図 | 件数 | 50件 | 35件 | 70.0% | 50件 | 28件 | 30件 | |
| 超音波検査 | 件数 | 200件 | 157件 | 78.5% | 180件 | 144件 | 160件 | |

(2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。子宮がん検診の実績は、受診勧奨の拡大により大幅に受診者が増加した。また、大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診との同時受診が可能となった26年度から受診者が減少している。

① 子宮

[表 26]

| 事業項目 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-------|-------|----------|----------|--------|----------|--------------|----------------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 細胞診検査 | 頸部件数 | 28,000 件 | 30,839 件 | 110.1% | 24,000 件 | 25,301 件 | 34,804 件 |
| | 体部件数 | 2,500 件 | 2,745 件 | 109.8% | 2,300 件 | 2,266 件 | 2,275 件 |
| | がん発見数 | — | 10 人 | — | — | 9 人 (6 人) | 29 人 (15 人) |

※ がん発見数は平成29年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本2件を含み、このほか再提出として頸部34件、体部1件の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 30,839 人、要精検数 650 人(要精検率 2.1%)

体部 検査件数 2,745 人、要精検数 44 人(要精検率 1.6%)

② 大腸

[表 27]

| 事業項目 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------------|----------------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 便潜血検査 | 件数 | 13,000 件 | 10,442 件 | 80.3% | 12,000 件 | 12,706 件 | 12,698 件 |
| | がん発見数 | — | 12 人 | — | — | 17 人 (15 人) | 30 人 (24 人) |
| 精度管理(精密) | | 1,100 件 | 498 件 | 45.3% | 1,100 件 | 537 件 | 711 件 |

※ がん発見数は平成29年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 検査件数 10,442 人、要精検数 788 人(要精検率 7.5%)

※ 精度管理(精密)の実績は、28年度中に記録処理を行った数である。

(3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。地区医師会で実施したがん検診の精度管理業務を段階的に拡充していく区の計画にもとづき、27年度から、5つの対策型がん検診すべての精度管理について集計業務を実施している。

[表 28]

| 事業項目 | | 年度 | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|-------------------------|--------------|----|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 小中学生 心臓精密検査 | 人数 | | 100人 | 140人 | 140.0% | 100人 | 112人 | 86人 |
| 小中学生 結核検診精密検査 | 人数 | | 250人 | 307人 | 122.8% | 200人 | 290人 | 274人 |
| 企業健診 | 人数 | | 2,000人 | 2,015人 | 100.8% | 2,000人 | 1,948人 | 2,029人 |
| 個人健診 | 人数 | | 400人 | 338人 | 84.5% | 400人 | 374人 | 405人 |
| 脳ドック | 人数 | | 200人 | 163人 | 81.5% | 200人 | 198人 | 192人 |
| 動脈硬化検査 (個人) | 個人 | | 450人 | 431人 | 95.8% | 450人 | 474人 | 600人 |
| 体成分分析測定 | 人数 | | 100人 | 93人 | 93.0% | 50人 | 159人 | 187人 |
| 骨密度測定 | 人数 | | 200人 | 255人 | 127.5% | 50人 | 244人 | 249人 |
| 医師会実施 大腸がん検診 精度管理 | 一次検診 集計件数 | | 42,000件 | 61,003件 | 145.2% | 43,000件 | 32,371件 | 24,101件 |
| | 精密検査 集計件数 | | — | 1,809件 | — | — | 1,382件 | 848件 |
| 医師会実施 胃がん検診 精度管理 | 一次検診 集計件数 | | 200件 | 119件 | 59.5% | 200件 | 212件 | 103件 |
| | 精密検査 集計件数 | | — | 27件 | — | — | 14件 | 8件 |
| 医師会実施 肺がん検診 精度管理 | 一次検診 集計件数 | | 45,000件 | 81,609件 | 181.4% | 45,000件 | 26,065件 | 19,925件 |
| | 精密検査 集計件数 | | — | 1,474件 | — | — | 455件 | 322件 |
| 医師会実施 子宮がん検診 精度管理 | 一次検診 集計件数 | | 27,000件 | 42,057件 | 155.8% | 22,500件 | 5,402件 | — |
| | 精密検査 集計件数 | | — | 452件 | — | — | 58件 | — |
| 医師会実施 乳がん検診 精度管理 | 一次検診 集計件数 | | 17,000件 | 23,857件 | 140.3% | 15,200件 | 5,400件 | — |
| | 精密検査 集計件数 | | — | 1,816件 | — | — | 247件 | — |

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、28年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業
(総合福祉センター事業)**

(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)

自宅において安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し、相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。平成 28 年度は、派遣依頼が減少したことなどから実績は減少した。

[表 29]

| 事業項目 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------------|----|------|------|-------|------|------|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 住宅改造アドバイザー派遣 | 回数 | 300回 | 163回 | 54.3% | 300回 | 202回 | 274回 |

(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)

障害のある高齢者がいる施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。

[表 30]

| 事業項目 | | 28年度 | | | 27年度 | | 26年度 |
|--------|----|------|-----|--------|------|-----|------|
| | | 計画 | 実績 | 達成率 | 計画 | 実績 | 実績 |
| 専門職員派遣 | 回数 | 50回 | 53回 | 106.0% | 70回 | 48回 | 71回 |